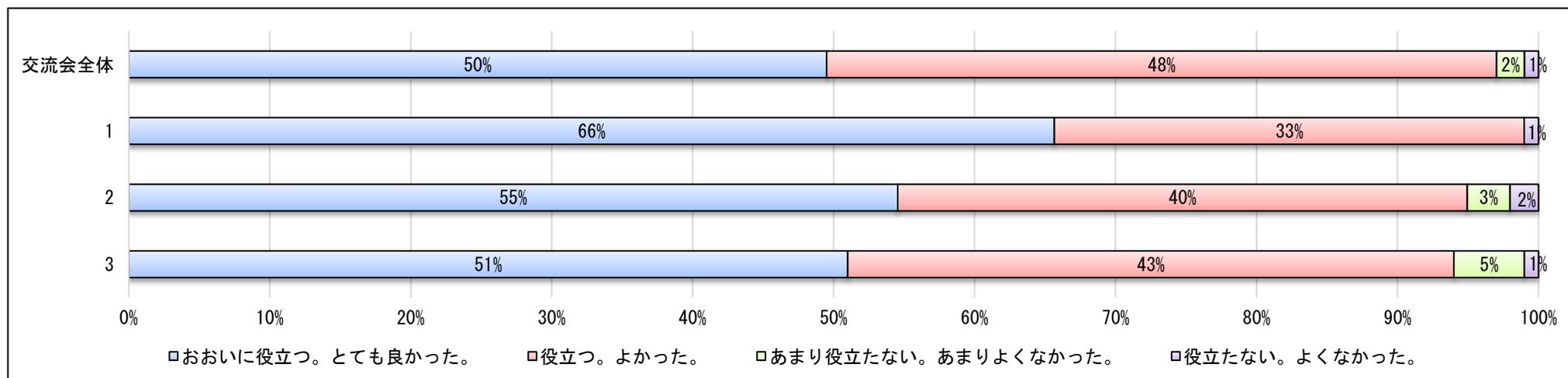


令和2年度広島県生涯学習研究実践交流会 アンケート集計

<質問内容>

交流会全体：本交流会の日程や内容はいかがでしたか。

- 1：トークセッションは、今後の取組や活動の参考になりましたか。
- 2：発表や意見交流は、今後の取組や活動の参考になりましたか。
- 3：講演・総括は、今後の取組や活動の参考になりましたか。



<御意見・御感想>

- 人と人とのつながり方が変容している「今だからこそ」どのような意識を持ってどのように地域課題の解決へと繋げていくと良いのか、ヒントを頂きました。
- ポストコロナ時代の「つながり」の先進事例を学ぶことができました。
- ハイブリッド型の研修で今までとは違う開催の仕方でしたが、参加者も多くそのメリットも大いに感じることができました。その中で、前向きに実践している皆さんの熱量に触れ、交流ができたこと、励みになりました。
- 今の時代だからこそ、失敗を恐れずチャレンジすることが大切だと思いました。自分自身の業務においても「何のためにするのか」ということを忘れずに、チャレンジしていきたいと思えます。
- 「生涯学習・社会教育の未来を明るくするために、『足りない』・『課題がある』ということは、財産である。」という講師の言葉に感銘を受けました。マイナスに捉えるのではなく、むしろ光るアイデアを産む原動力になるということで、印象深く受け止めました。
- たくさんの質問や感想、提案を聞かせていただき、今後の励みになりました。さっそく関係職員のミーティングを開催し、いただいた提案を共有したいと思います。
- オンラインの可能性を非常に感じることでできる交流会であったと思います。世の中の情勢にもよるとは思いますが、ハイブリット型と集合型を隔年で行われることもあってよいかなと思いました。
- オンラインとリアルを交えての交流会でしたが、画面に大きくうつるので、「近い」感じがして良いと思いました。
- 最新の取組を聞くことができました。コロナの影響でモチベーションが落ちていましたが、刺激を受け、まだ頑張ろうと思えました。学びをとめない！